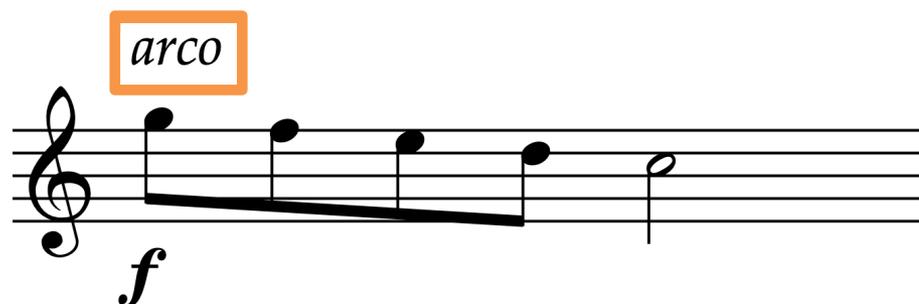


奏法に関する楽語・記号

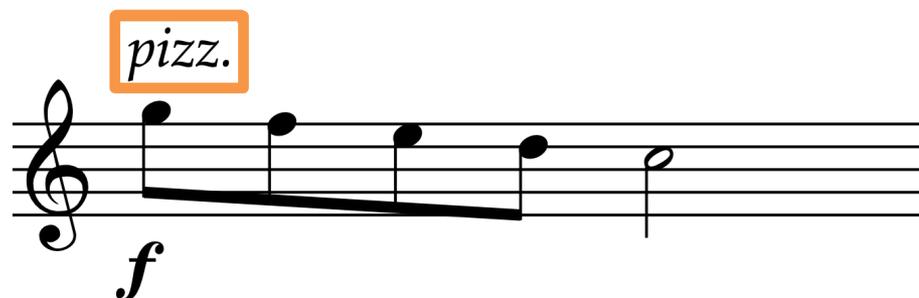
奏法とは？

奏法とは、音色や表現の変化をともなう演奏方法の違いのこと。同じ楽器でも奏法によって異なる音色を鳴らすことができる。

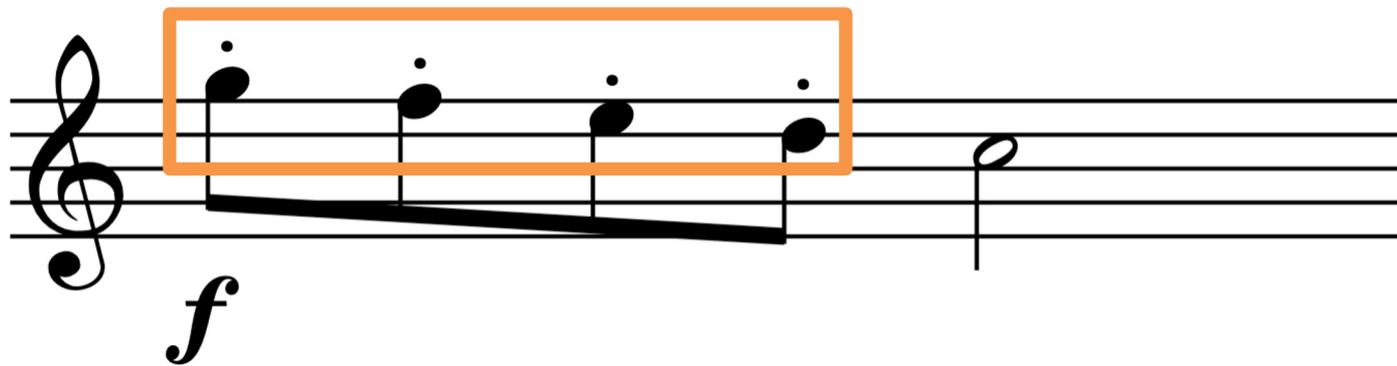
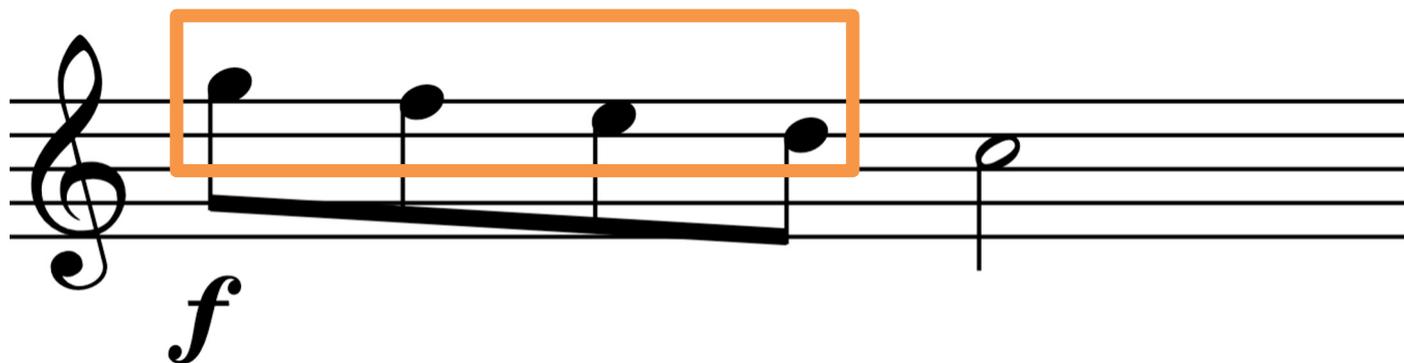
■ アルコでの演奏



■ ピチカートでの演奏

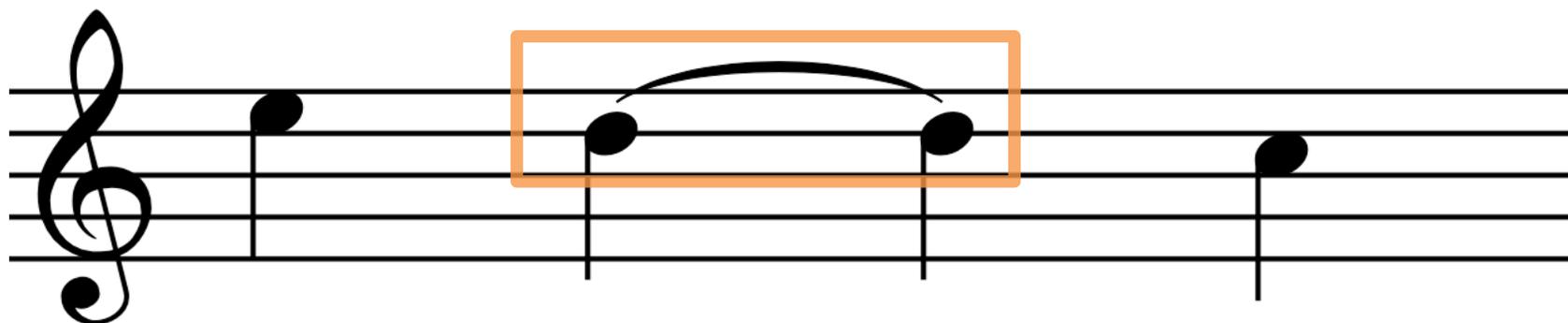


同じ奏法でもアーティキュレーションで変わる



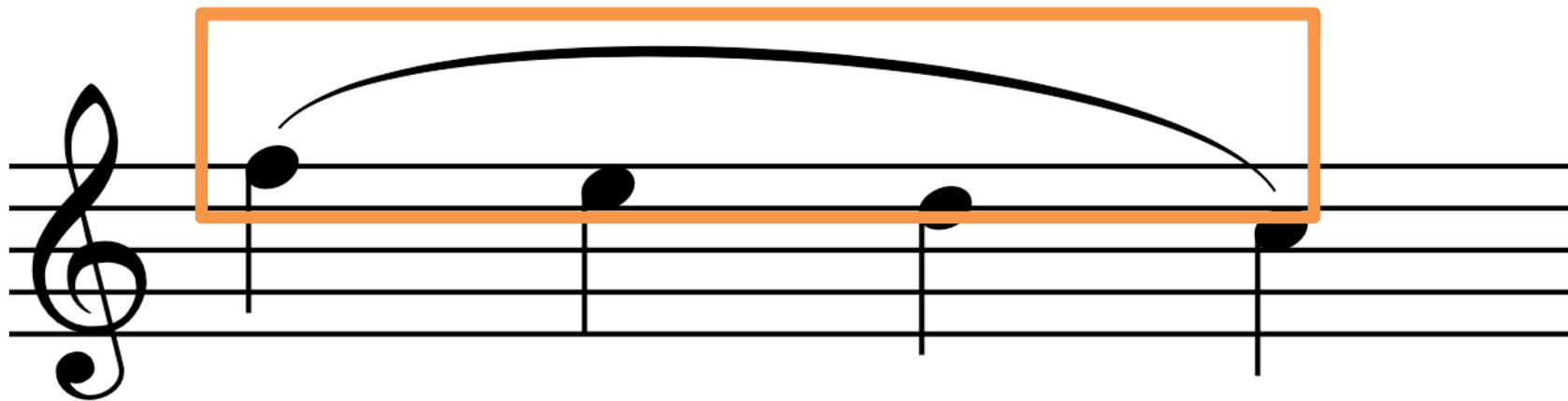
タイ

結ばれた同じ高さの音をつないで、切れ目なく演奏することを指示する記号。小節をまたいで演奏したり、同じ小節内でも拍を見やすく表記するために使われる。



スラー

括られている音符を、滑らかに演奏することを指示する記号。ストリングスなどでは、スラーのついている音はひと弓で演奏するといった決まりもある。

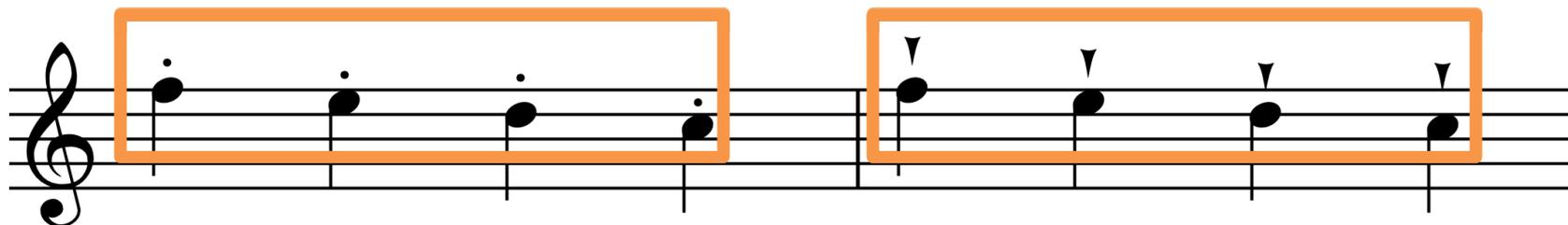


スタッカート(スタッカーティシモ)

スタッカートは、音を短く切って演奏することを指示する記号。また、さらに音を短く切って演奏することを指示する記号としてスタッカーティシモがある。それぞれ音価の50%、25%の長さで演奏するとされるが、実際にはフレーズに合わせて適宜調整される。

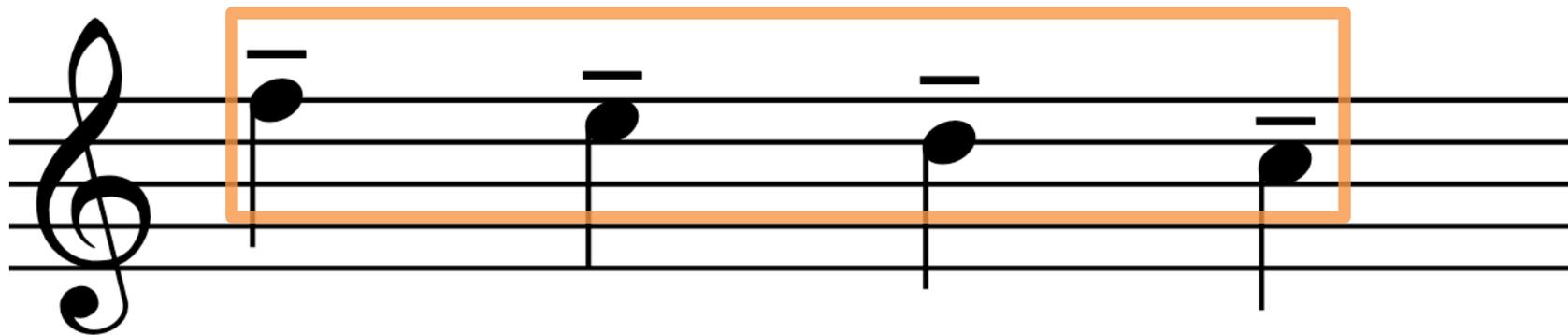
スタッカート

スタッカーティシモ



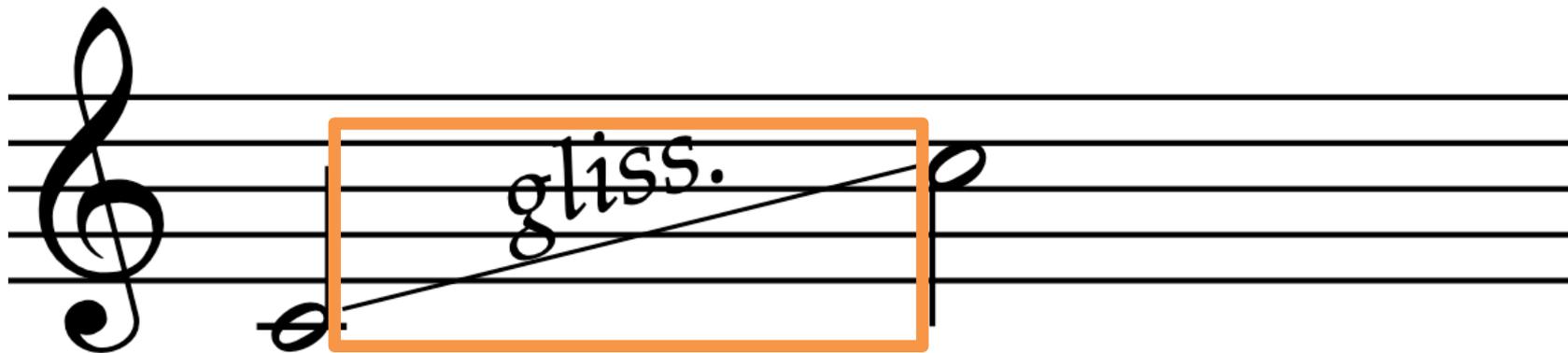
テヌート

音を十分に保って(伸ばして)演奏することを指示する記号。



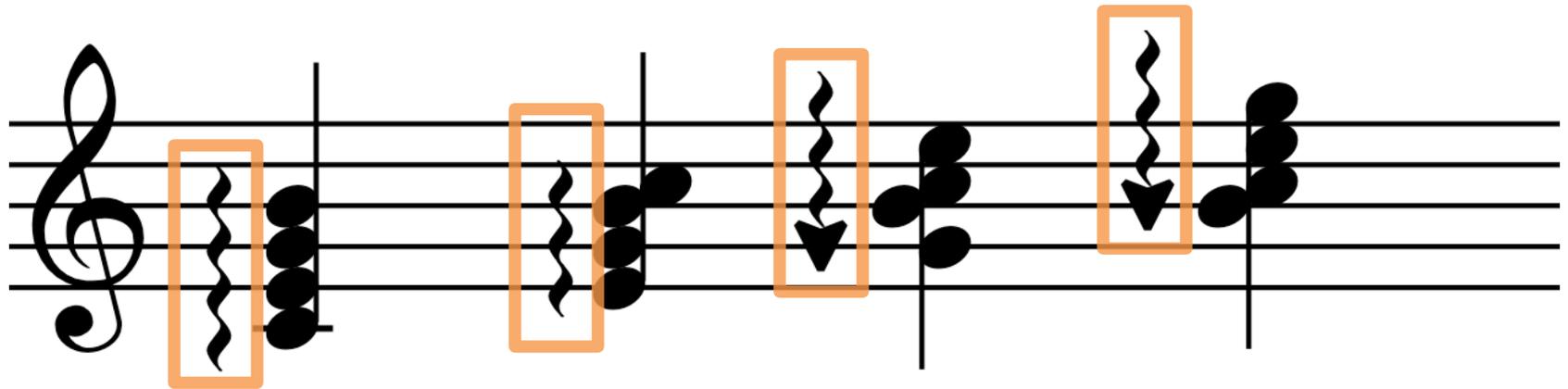
グリッサンド

結ばれた2音の間を滑らせるように演奏することを指示する記号。ピアノであれば、始点から終点までの間の鍵盤に手を滑らせるように演奏する。また、トロンボーンをはじめ一部の楽器では、音階の識別ができないほどのシームレスなグリッサンドが可能。



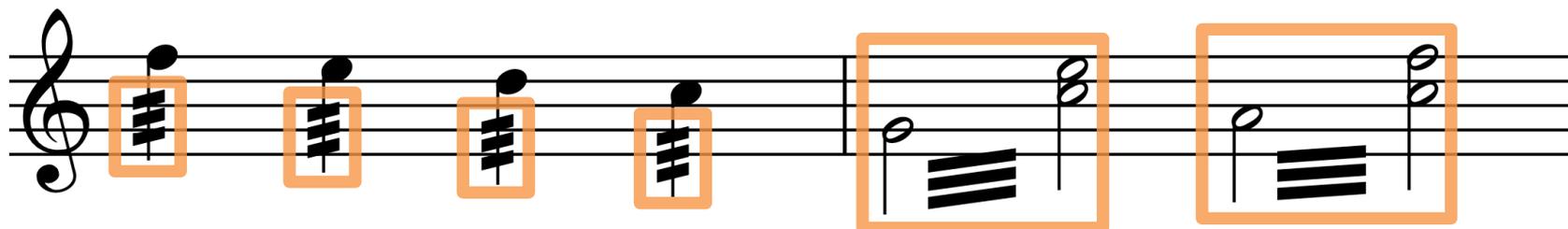
アルペジオ

発音少しをズラして分散和音として演奏することを指示する記号。基本的には低い音から高い音へズラして演奏するが、下向きの矢印がついている場合は、高い音から低い音へズラして演奏する。



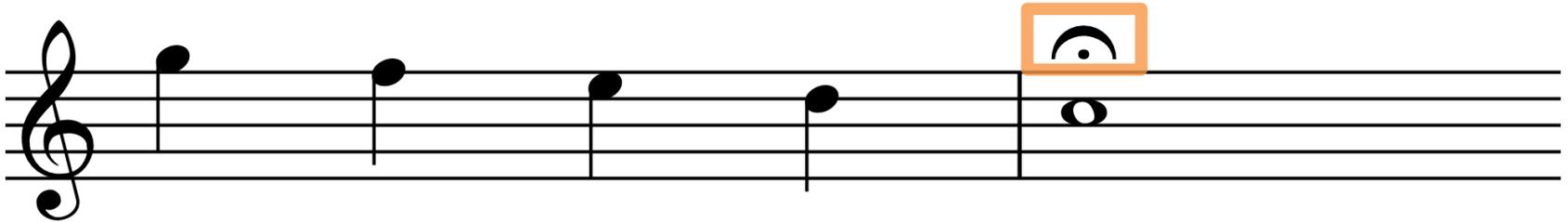
トレモロ

その音を細かく繰り返して演奏することを指示する記号。また、2音以上に分かれている場合は、交互に反復しながら演奏する。



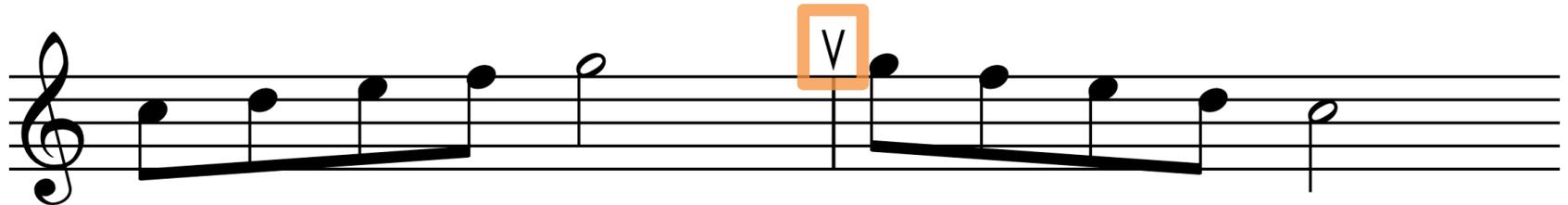
フェルマータ

曲の拍に関係なく、その音符や休符を十分に保って(伸ばして)演奏することを指示する記号。目安として、音価の2~3倍伸ばすと言われたりする場合もあるが、厳密な決まりはない。



ブレス

管楽器や歌では息継ぎの箇所を示し、それ以外ではフレーズの切れ目を表す記号。ブレス記号は記載されないことも多いので、その場合は演奏者の判断で適宜息継ぎなどが行われる。



特定の楽器で用いられる奏法楽語・記号

特定の楽器群や演奏形態で使われ
主に演奏方法や人数の違いによる
音色の指定などに用いられます。

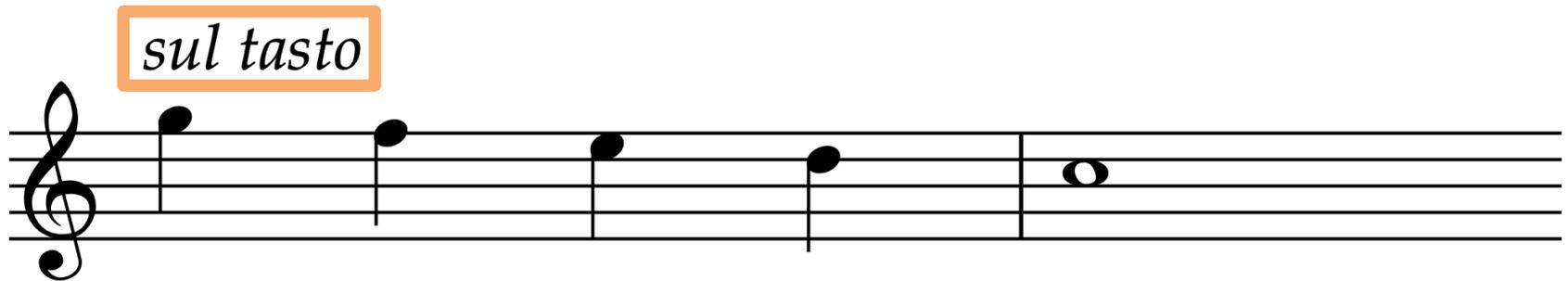
種類が多岐に渡るため、ここでは大きく2つに分けて解説します。

- 管弦楽器で使われる楽語・記号
- 鍵盤楽器で使われる楽語・記号

管弦楽器で用いられる 楽語・記号

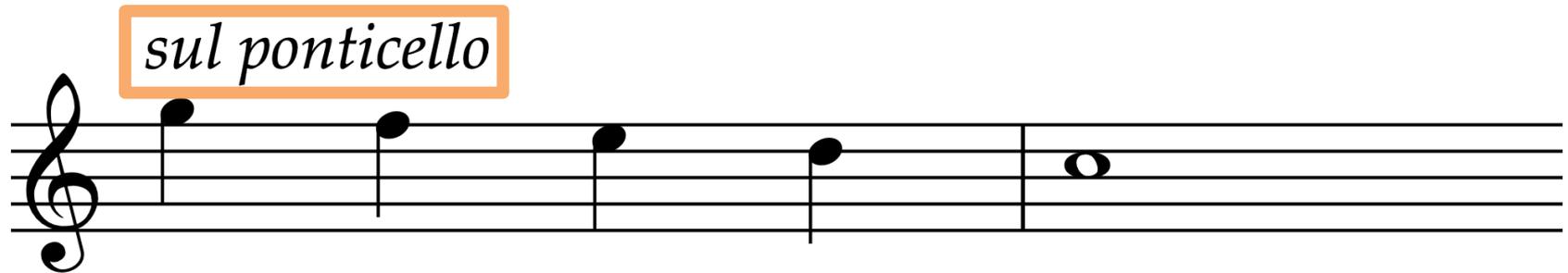
スル・タスト

主に弦楽器で用いられ、弓やピックなどの演奏位置を指板寄りで演奏することを指示する楽語。演奏位置を指板寄りに変えることで、音色が柔らかくなる。



スル・ポンティチェロ

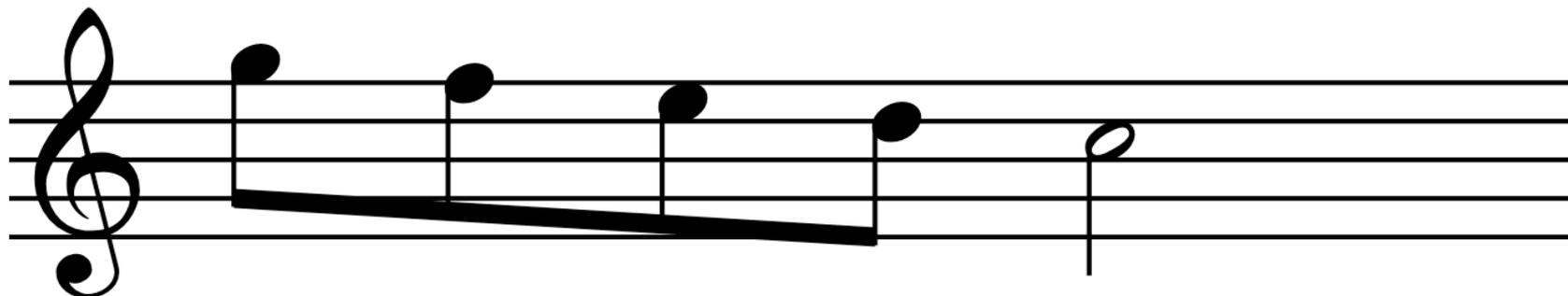
主に弦楽器で用いられ、弓やピックなどの演奏位置を駒やブリッジ寄りで演奏することを指示する楽語。こちらはスル・タストとは逆に、固く乾いたような音色になる。



アルコ

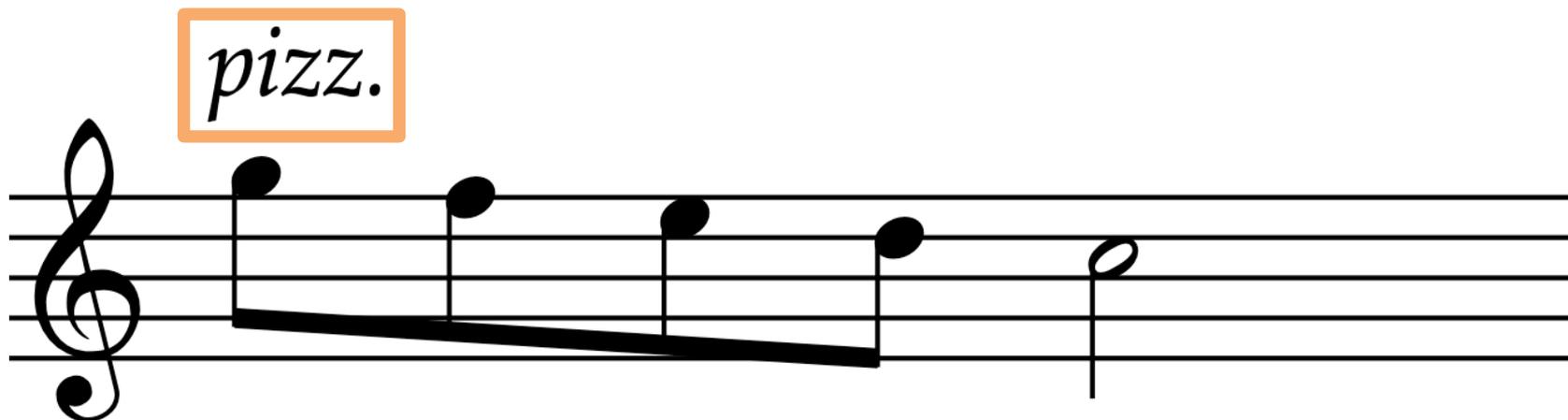
主に弦楽器で用いられ、弓を使って演奏することを指示する楽語。ストリングスの場合は、特に指定がなければ基本的に弓で演奏されるので、後述のピチカートから弓弾きに戻す際に使われる。

arco



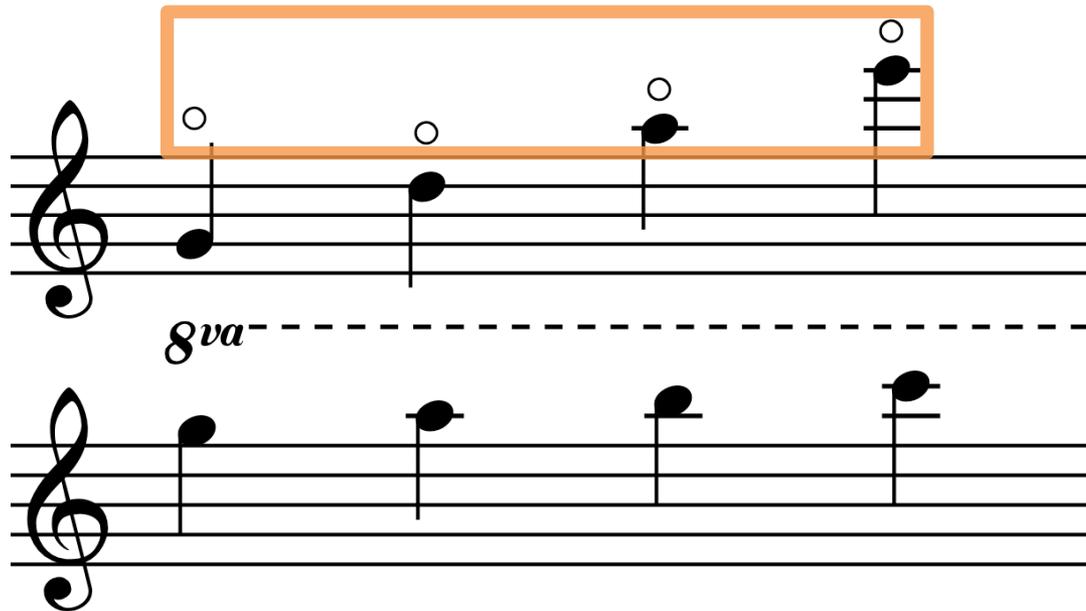
ピチカート

主に弦楽器で用いられ、指で弾いて演奏することを指示する楽語。



ハーモニクス(フラジオ)

弦楽器やサックスなどの管楽器に用いられ、倍音を強調して演奏することを指示する記号。



サックスのフラジオはその音高を記譜すればOK！

コン・ソルディーノ

管・弦どちらにも用いられ、弱音器(ミュート)を使って演奏することを指示する楽語。弱音器は、音を弱くすることよりも、弱音器を装着したことによる音色の変化を狙って使われることが多い。また、弱音器を外す場合は「*senza sordino*(センツァ・ソルディーノ)」と表記することで指示する。

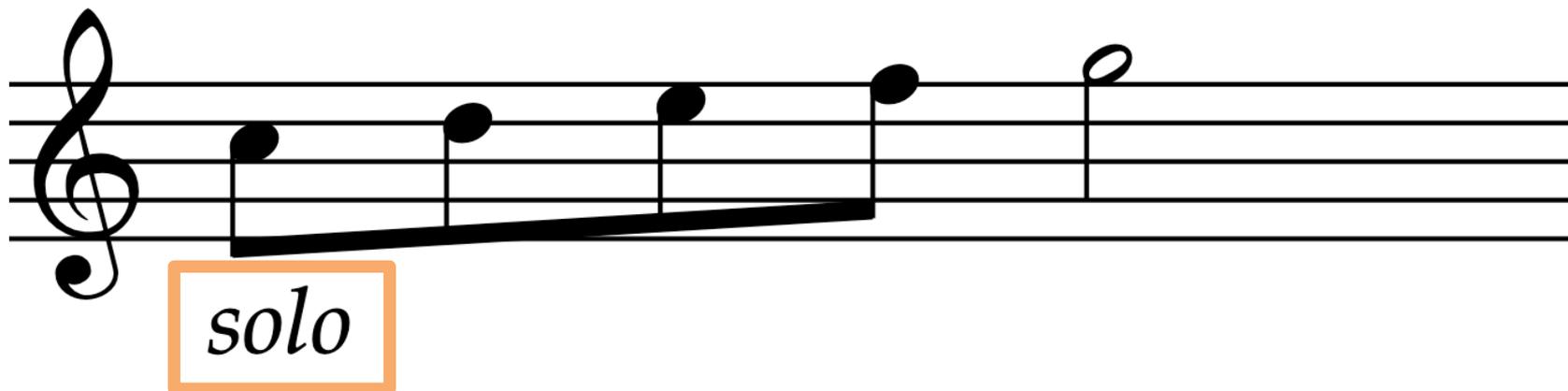
弱音器を付ける

弱音器を外す



ソロ

1パートに複数人の奏者がいる場合、独奏することを指示する楽語。



トゥツティ

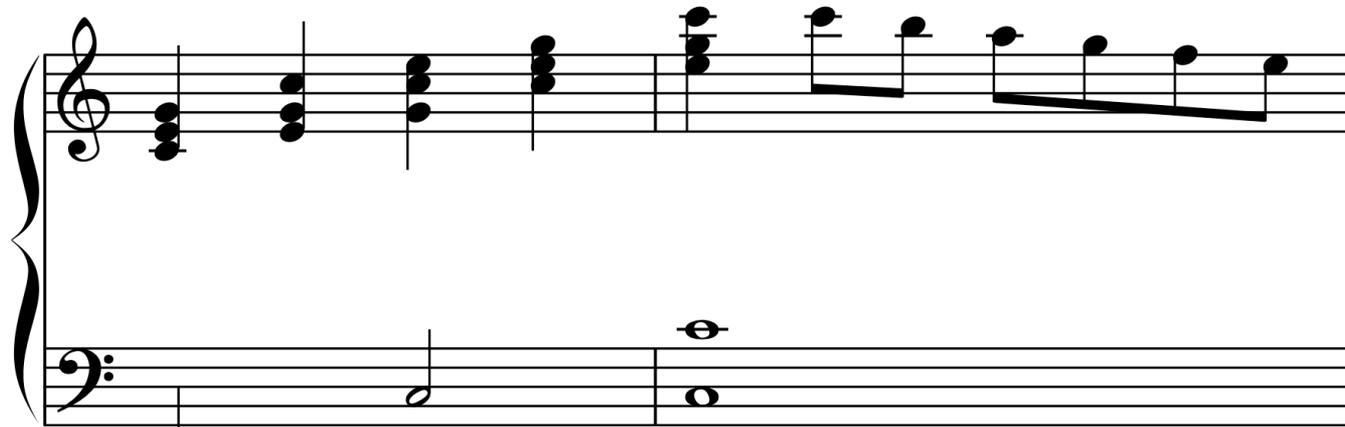
1パートに複数人の奏者がいる場合、全員が演奏することを指示する楽語。また「a2(ア・ドウエ)」と表記されている場合は2人で、「a3(ア・トレ)」の場合は3人で演奏するなど、具体的に人数を指定する場合もある。



鍵盤楽器で用いられる 楽語・記号

ペダル(ペダーレ)

主にサスティンペダルを使い、音を伸ばして演奏することを指示する記号。逆にサスティンペダルを離す場合は、センツァと呼ばれる記号で指示する。



Ped.
ペダル

センツァ

ウナ・コルダ

弱音ペダルを使い、音を柔らかく演奏することを指示する楽語。逆に弱音ペダルを離す場合は「tre corde(トレ・コルダ)」と表記することで指示する。

The image displays a musical score for piano, consisting of two staves. The first staff is in treble clef and the second in bass clef. The music is divided into two sections by a double bar line. The first section, labeled 'una corda', features a series of chords in the right hand and single notes in the left hand. The second section, labeled 'tre corde', features a melodic line in the right hand and single notes in the left hand. The labels 'una corda' and 'tre corde' are written in italics and enclosed in orange boxes.

ウナ・コルダ

トレ・コルダ